

平成30年度 地域連携活動報告書

|          |  |          |             |
|----------|--|----------|-------------|
| 協定締結日    | 平成29年11月17日  | 連携先名称    | 埼玉県ちちぶ定住自立圏 |
| 活動状況     |  | 連携先窓口    |             |
| 活動資金     |  | 担当教員(所属) | 長島孝行        |
| 活動体制(単位) |  | 関連教員(所属) | 農学部デザイン農学科  |
| 活動内容     | <p>本地域は20年間毎年研究室が活動してきた地域で、平成21年には豊かなむらづくり全国表彰事業で、農林水産大臣賞を受賞した。この活動の軸は、地元の農家の方々とカブトエビという甲殻類を利用して除草し、無農薬米を作り、地域の環境を自動的に良くしていくというものである。その大臣賞受賞の成果の結果、記念公園が県予算で作られ、近年はホタルも大発生し、地域の自立化と観光化が進んでいる。また埼玉県依頼の地域協力隊として4年間、自立に向けた活動を学生が実施してきたという歴史のある地域である。</p> <p>今年も、2018年5月12日、13日と研究室学生と教員二名の計31名で秩父市吉田に出かけ、カブトエビ水田の今年の打ち合わせと地元住民との懇親を深めた。例年この活動は自費で現地に出かけている。</p> <p>2018年6月7日には、秩父市吉田の水田で毎年行っている地元吉田小学校5年生2クラスの生徒の田植えが行われ、研究室の学生2名が参加した。このイベントでは毎年研究室学生がカブトエビの機能性と利用方法について説明し、地元の農家の方々が田植えの方法を解説する。すでに水を入れて数日経っているため、カブトエビが発生しているので小学生はカブトエビをみながら田植えをするということになる。恒例行事になりつつあり、毎年マスコミ、父兄なども見学にきている。</p> |          |             |

